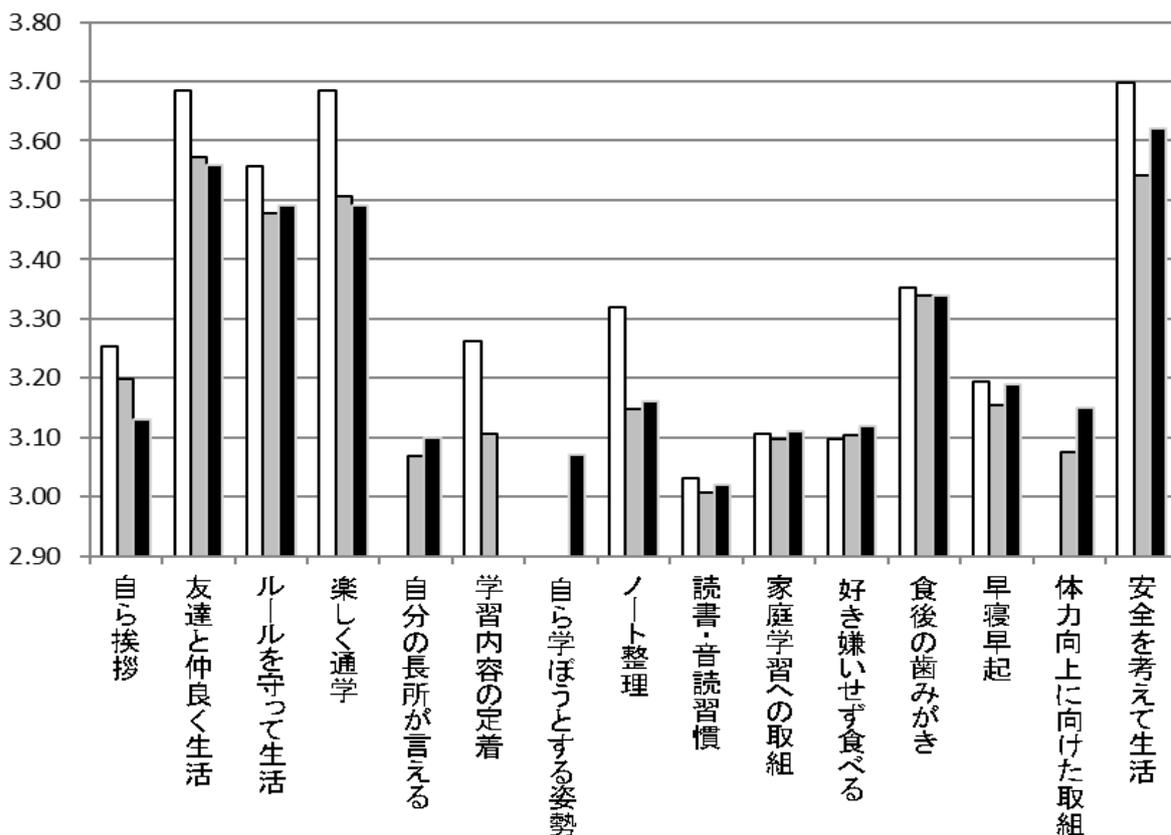


保護者評価 (R4～R6)

□ R4 ■ R5 ■ R6



保護者の皆様、お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。上記のアンケート結果のグラフは、令和4～6年度の経年変化を載せたものとなっております。一部、アンケート項目を変更しているため、項目によっては表記のない年度もございますが、ご了承ください。

「友達と仲良く生活」「ルールを守って生活」「楽しく通学」「安全を考えて生活」の4項目は、他の項目に比べて高い数値を維持しています。しかし、学校での生活において不安を抱えている児童や保護者も一定数いることもアンケートから見られましたので、各ご家庭・地域に開かれた学校を目指し、児童一人一人にとって居心地のよい環境をつくれるよう努めてまいります。

本校では、キャリア教育を推進しており、自分のよさ（つよみ）をきちんと知り、それを活かせるように意識して生活しているところです。「自分の長所が言える」については、昨年度の数値をわずかに上回りましたが、全体的に見るとまだまだ低い水準でした。引き続き、個々が自己肯定感を高め、自分のつよみに気付き、活かせるよう努めてまいります。

各家庭における「読書・音読習慣」については、今年度も低い数値となりました。学校では、図書館司書を中心に、多くの本に触れる機会をつくっております。また、「体力向上に向けた取組」は、今年度の重点項目でもあり、昨年度よりも数値を伸ばすことができました。体育の授業はもちろんのこと、業間休みなどの休み時間を活用した体力づくりの取組も充実させることができました。

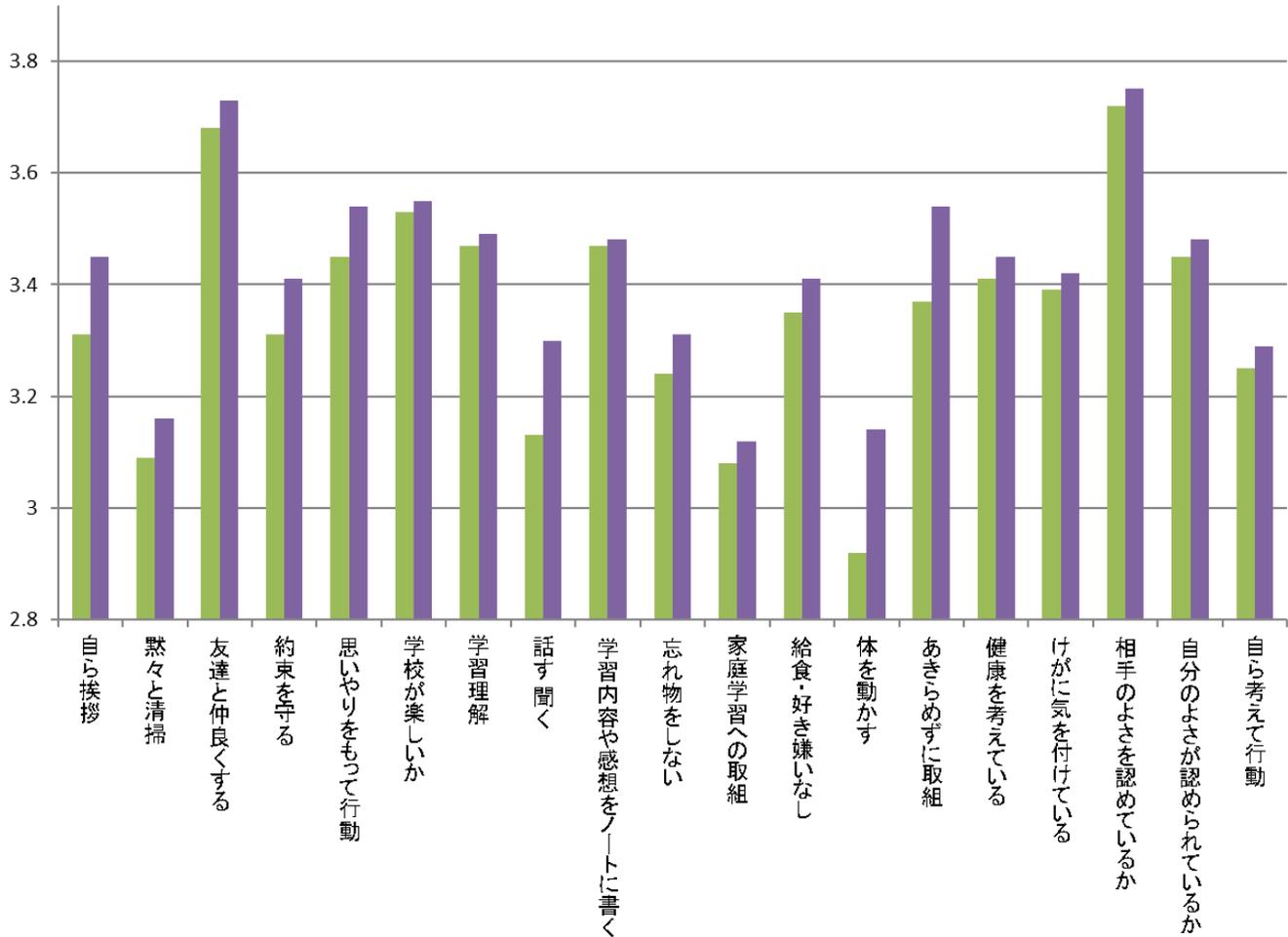
最後に「自ら挨拶」ですが、ここ3年間で最も低い数値となりました。これは、職員としても課題意識をもっており、挨拶運動などを充実させ、自ら自然と挨拶ができる習慣づくりに努めていきたいと思っております。

真砂西小が、より安心してお子さんを通わせることのできる場所となるよう、児童にとって安心できる居場所、学び多き場所となるよう努めてまいります。引き続き、ご支援、ご協力の程よろしくお願いたします。

学校評価アンケート(児童)

■ R6前期

■ R6後期



全校児童対象に前後期に1回ずつ(計2回)アンケートを行いました。今年度は、すべての項目において、前期よりも後期の数値が上回り、児童一人一人の意識の高まりや頑張りが見られました。

前後期ともに高評価だったのが、「友達と仲良くする」「相手のよさを認めているか」の2項目でした。本校では、キャリア教育を教育活動の根幹としており、人との関わり合いを通して、相手のことを考えて行動したり、相手のことを尊重したりすることに対する意識づけが次第に定着してきたことが伺えます。「自分のよさが認められているか」においても、高い数値とはなっていますが、他者から自分のよさを認めてもらっていると自信をもてずにいる児童もいます。引き続き、キャリアの視点を大切に教育活動を推進していきます。

また、「体を動かす」は、前期は特に低い評価となりました。昨年度も同項目が低い数値となり、本校の課題として挙げてきました。後期には、体育委員会を中心として、業間休み、昼休みを活用し、様々な体力づくり活動に取り組んできました。その成果として、後期は数値が大きく伸びていると考えられます。体を動かすことに苦手意識のある児童も、楽しみながら体を動かせるような活動を今後も工夫していきたいと思えます。

最後に、「黙々と掃除」では、後期に数値は伸びているものの、他の項目と比べて低い数値となっています。教職員も児童も一緒に学校全体で、15分間の掃除の時間の過ごし方を見直し、黙働(もくどう)の定着に努めていきたいと考えています。